

## 佐久市保健・医療のつばさ事業 海外視察研修受入報告書

視察国	アンゴラ共和国	
団体名	アンゴラ共和国母子手帳を通じた保健サービス向上プロジェクト 本邦招聘プログラム	
日程	平成 29 年 9 月 14 日	
目的	日本の地域における医療と高齢者ケアの連携及び地域活動への理解	
視察者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 政府関係者 7 名 (保健省公衆衛生局長、リゾ・ダ・ケイブ・ヘルス部長、州、市保健局等)</li> <li>・ 随行者 8 名</li> </ul> 合計 15 名	
視察先	佐久総合病院、佐久市	
行程	◆9 月 14 日 講義： 「地方自治体における保健行政及び母子保健事業、地域住民の参加」 【佐久市保健センター】 講義、見学： 「母子保健手帳の配布・管理の実務、保健センター視察」【佐久市保健センター】 講義、見学： 「地方部における医療サービス提供体制と地域医療、病院視察」 【佐久医療センター】	
視察国の感想	国民の半数以上が農村地域に住んでいるアンゴラ共和国にとって、未だ保健施設へのアクセスが難しい地域に暮らしている住民も存在する。佐久市保健センター及び佐久総合病院の母子保健や地域医療を中心とする様々な活動についての視察は、今後の活用方法を考える上で、大変充実した内容であった。	  

※行程は佐久市内の視察研修の一部を抜粋しています。